

プライベート市場：2023年における3つのアイデア

公開市場と資金への需要が変動する中、ますます多様化するユニバースであるプライベート市場は、投資家に興味深いエントリーポイントを提供するかもしれません。3つの分野に焦点を当てて検証します。



1. プライベートクレジット：2つの領域での機会を評価する

欧州中堅企業向け融資

- 財務状態が圧力にさらされる中、銀行は投資適格企業への融資を優先する可能性があります。こうした動向が、プライベート市場投資家に、市場の別の領域での潜在的な機会をもたらす可能性があります。
- より低格付けの企業への融資に関する高利回りは、景気後退時の潜在的損失を吸収する緩衝材となる可能性があります。一般的な投資家は、状況が改善した時に向けてよいポジションにあると言えるでしょう。

貿易金融

- 短期の、準流動的なアセットクラスであり、未払いまたは金利変動による損失リスクが限定的である貿易金融は、投資家がポートフォリオ収益を構築するうえで有用です。
- 投資家は、銀行が貿易金融への旺盛な需要を充足する上で、銀行を支援する役割を果たすことができる可能性があります。また、貿易金融は、より長期の信用市場がリセットされるのを待ちつつ、機会を求めるアセットクラスとしての役割を果たす可能性があります。



Navigating
Rates

Allianz 
Global Investors

プライベート市場：2023年における3つのアイデア



2. パートナーシップおよびセカンダリー市場：より多くの潜在的な取引

共同投資

- 資金調達がより厳しくなる市場において、弊社は、プライベートエクイティ企業（ゼネラルパートナーまたはGPとも呼ばれる）が、取引のパートナーを求めること（共同投資）を予想します。
- 特に、市場がさらに軟調になり、分配がより困難になるに従い、資金取引の助けとするため、規模が大きく、信頼できるパートナーが求められることが予想されます。

セカンダリー市場取引

- 投資家にとってもう一つの潜在的な機会は、GPが主導するセカンダリー市場取引および、ライフサイクルの終了に近づいたファンドのポートフォリオ投資を引き受けるために設定される継続ファンドです。
- この市場は、過去20年において二桁の伸び率で拡大し、2021年には約1,340億米ドルにまで達しており¹、この市場における資金取引を支援するため、規模の大きなパートナーが必要とされることが予想されます。

1. <https://www.buyoutsinsider.com/secondaries-continues-to-attracts-new-investors-particularly-as-the-gp-led-trend-dominates/>



プライベート市場：2023年における3つのアイデア



3. インフラ：考慮すべき2つの要因

エネルギー

- 弊社は、より持続可能なエネルギー源への移行と、将来のエネルギー供給確保の両面に対する巨額の資金需要を見込んでいます。
- 必要とされる投資の規模は莫大です。2030年までに、世界全体で、効率性、電化、送電網拡大および柔軟性を中心として、エネルギー移行のための資金調達に累計35兆米ドル¹の投資が必要とされます。

インフレ

- 多くの場合、インフラ資産には、インフレ率が高い時期を投資家がうまく乗り越えることを可能にする特徴および契約上の保護があります。
- 投資機会は、インフレによって利幅が縮小し、企業が資産の売却を模索するときに発生します。弊社は、株式、ハイイールド債および投資適格債の全体にわたってこうした機会の発生を見込んでいます。

1. [Investment Needs of USD 35 trillion by 2030 for Successful Energy Transition \(irena.org\)](#) International Renewable Energy Agency, 28 March 2023



【ご留意事項】

- 本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズまたはグループ会社（以下、当社）が作成したものです。
- 特定の金融商品等の推奨や勧誘を行うものではありません。
- 内容には正確を期していますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている個別の有価証券、銘柄、企業名等については、あくまでも参考として申し述べたものであり、特定の金融商品等の売買を推奨するものではありません。
- 過去の運用実績やシミュレーション結果は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料には将来の見通し等に関する記述が含まれている場合がありますが、それらは資料作成時における当社の見解または信頼できると判断した情報に基づくものであり、将来の動向や運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている内容・見解は、特に記載のない場合は本資料作成時点のものであり、既に変更されている場合があります、また、予告なく変更される場合があります。
- 投資にはリスクが伴います。投資対象資産の価格変動等により投資元本を割り込む場合があります。
- 最終的な投資の意思決定は、商品説明資料等をよくお読みの上、お客様ご自身の判断と責任において行ってください。
- 本資料の一部または全部について、当社の事前の承諾なく、使用、複製、転用、配布及び第三者に開示する等の行為はご遠慮ください。
- 当社が提案する戦略および運用スキームは、グループ会社全体の運用機能を統合したものであるため、お客様の意向その他のお客様の情報をグループ会社と共有する場合があります。
- 本資料に記載されている運用戦略の一部は、実際にお客様にご提供するにあたり相当程度の時間を要する場合があります。

対価とリスクについて

1. 対価の概要について

当社の提供する投資顧問契約および投資一任契約に係るサービスに対する報酬は、最終的にお客様との個別協議に基づき決定いたします。これらの報酬につきましては、契約締結前交付書面等でご確認ください。投資一任契約に係る報酬以外に有価証券等の売買委託手数料、信託事務の諸費用、投資対象資産が外国で保管される場合はその費用、その他の投資一任契約に伴う投資の実行・ポートフォリオの維持のため発生する費用はお客様の負担となりますが、これらはお客様が資産の保管をご契約されている機関(信託銀行等)を通じてご負担頂くことになり、当社にお支払い頂くものではありません。これらの報酬その他の対価の合計額については、お客様が資産の保管をご契約されている機関（信託銀行等）が決定するものであるため、また、契約資産額・保有期間・運用状況等により異なりますので、表示することはできません。

2. リスクの概要について

投資顧問契約に基づき助言する資産又は投資一任契約に基づき投資を行う資産の種類は、お客様と協議の上決定させて頂きますが、対象とする金融商品及び金融派生商品（デリバティブ取引等）は、金利、通貨の価格、発行体の業績・財務状況等の変動、経済・政治情勢の影響を受けます。従って、投資顧問契約又は投資一任契約の対象とさせて頂くお客様の資産において、元本欠損を生じるおそれがあります。ご契約の際は、事前に必ず契約締結前交付書面等をご覧ください。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第424号
一般社団法人日本投資顧問業協会に加入
一般社団法人投資信託協会に加入
一般社団法人第二種金融商品取引業協会に加入